

9月定例会の概要

会期 9月8日～9月28日の21日間

会期中の主な動き

●特別委員会の開催

(人権・少子高齢化問題等対策特別委員会) ……9月15日

(半島振興・地方創生対策特別委員会) ……9月16日

(防災・国土強靱化対策特別委員会) ……9月21日

●特別委員会の設置

(決算特別委員会を設置し、委員を選任) ……9月28日

(1R対策特別委員会を設置し、委員を選任) ……9月28日

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	2件	令和3年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件()	3件	和歌山県個人情報保護条例の一部を改正する条例等	可決
決算案件()	2件	令和2年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	継続審査
人事案件()	3件	和歌山県公安委員会の委員の任命につき同意を求めるについて等	同意
その他案件()	6件	令和3年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等 出産育児一時金の増額を求める意見書	可決
意見書	3件	北朝鮮の弾道ミサイル発射に対し厳重な抗議を求める意見書 選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書	可決 否決

質問議員 17人

9月15日(水)	9月16日(木)
堀 龍雄 多田 純一 浦口 高典 中本 浩精 楠本 文郎	坂本 登 岩田 弘彦 鈴木 徳久 佐藤 武治
9月17日(金)	9月21日(火)
秋月 史成 杉山 俊雄 藤本 眞利子 濱口 太史	長坂 隆司 中西 峰雄 吉井 和視 尾崎 要二

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

土砂災害対策

問 土砂災害のおそれがある箇所では、調査や対策が必要であると考えますが、知事の所見を伺う。

答 土砂災害対策は、防災拠点や避難所など、施設の重要度や現地の状況等を踏まえて、砂防堰堤や擁壁等の整備に取り組んでいます。

また、がけ崩れ対策では、人命を最優先に考えて、前兆現象が見られる場合に、必要な対策ができるよう制度改正を行いました。

本年4月には、県内全域で土砂災害警戒区域の指定を完了し、土砂災害警戒判定メッシュ情報の公開や土砂災害警報時のプッシュ型メール配信など、県民へ情報提供できる仕組みを導入しており、引き続き、土砂災害に対する安全性を高めていきます。

若者総合対策

問 県政の重要課題の一つである青少年問題や若者問題について、どう考えるか。

答 全ての子供・若者が立派に成長し、個性と能力を發揮して、それぞれの道で活躍してもらうように成長することが、地域の力となり、目標であると考えており、学校教育を充実させる必要があることから、様々な政策を加えました。

子供・若者が、それぞれの困難や悩みを解消できるように、教育や福祉、雇用など、あらゆる分野において、努力していきます。

新産業の創出

問 健康・医療産業創出のため、産業界のシーズと健康・医療・福祉分野のシーズのマッチングを一層推進すべきではないか。

答 和歌山県産業技術基本計画において、重点的に推進すべき戦略的分野の中に、医療・福祉分野、バイオ・食品分野を位置づけ、医療機器や機能性食品等の研究開発等を支援しています。

ヘルスケア産業の創出及び振興を図るため設立されたわかやまヘルスケア産業革新プラットフォームは、新たな会員が加わり、114の皆様に参画いただいています。

シーズとニーズのマッチングをより一層推進し、さらなるヘルスケア産業の発展へとつなげていきます。

わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム…ヘルスケアに関連する産業の創出及び振興のため設立された協議会のこと。(事業者、医療・介護関係者、大学、金融機関、行政で構成)

コロナ禍における観光産業の支援策

問 地域観光事業支援を活用し、今議会でもわかやまリフレッシュプランに係る予算を計上してはどうか。

答 新型コロナウイルスの感染状況は予想がつかないものの、予算を計上しておくことで、感染が落ち着いた場合には早々に事業を開始できること、また、観光事業者への支援のメッセージになる御意見をいただき、大変勇気づけられたところです。

椿山ダムの放流操作

問 本年8月中旬の長雨における椿山ダムの放流についてどのように操作したのか。

答 椿山ダムの操作規則にのっとり、流入量が毎秒600mに達した8月13日20時より、当該流入量を下回った8月15日17時40分までの約46時間にわたり、洪水調節を実施しました。

水位調整に当たっては、利水者である関西電力(株)と調整の上、夏期制限水位よりも低い貯水位を目標に放流し、洪水に備えました。

その結果、下流への影響を最小限に食い止めたものと考えます。

南紀・はまゆう統合支援学校(仮称)

問 南紀・はまゆう統合支援学校(仮称)の屋外運動場を、生徒がより安全・安心に運用できる統合校舎の隣接地に将来設置する可能性はあるのか。

答 関係機関の協力のもと、将来は統合校舎の隣接地に屋外運動場設置が実現可能となることを目指し、継続した協議を進めていきます。